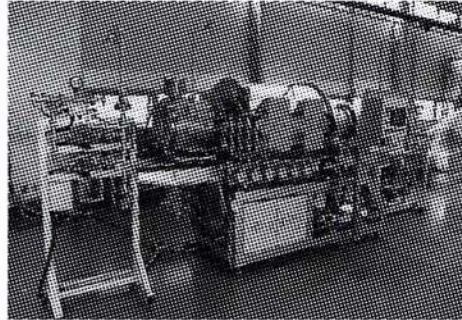


掲載新聞	日刊工業新聞社
掲載年月	2015年 8月 21日
掲載対象	多目的水素ロータリーキルン

# 水素を利用 金属変成

高性能材  
開発向け 杉山重工が試作機



【名古屋】杉山重工（大介社長、0561・愛知県瀬戸市、杉山48・1811）は、

水素により金属変成を行う試作機「多目的水素ロータリーキルン」を発売した。テスト結果を基に、実機の機器仕様の決定と設計を行う。水素還元反応、水素吸蔵反応、水素脆性反応をさまざまな金属原料で促進できる。価格は3800万円（消費税抜き）。2015年度中に10台の販売を見込む。多目的水素ロータリーキルンは高温、高真空雰囲気下において、温度や圧力、ガスの細かな条件設定ができる。温度については加熱だけでなく冷却も可能。加えてレトルト部が回転体で原料を混ぜられるため、反応の促進や均一化が期待できる。まず、テスト機として売り出し、無機化学工業や金属精錬を扱う企業に向けて、新材料の開発用に提案する。従来の回転体は、真空にしたレトルト内に空気が混入したり、中のガスが漏れたりし、シール性を高めるのが難しかった。同機は大

気を完全に遮断できるため、高性能材料の開発に貢献できる。